

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2018年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。下記の種目（種別）におけるハードルの高さ・ハードル間、投てき物の重さは次による。

- (1) 少年男子A 400mHのハードルの高さは0.914mとする。
- (2) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。
- (3) 少年男子Aやり投のやりの重さは、0.800kgとする。
- (4) 少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.000kgとする。
- (5) 少年男子共通110mHの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.991m／9.14mとする。
- (6) 少年男子共通円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。
- (7) 少年女子A 100mHのハードルの高さは0.838mとする。
- (8) 少年女子B 100mHのハードルの高さ／ハードル間は、0.762m／8.50mとする。
- (9) 少年女子共通400mHのハードルの高さは0.762mとする。
- (10) 少年女子共通砲丸投の砲丸の重さは、4.000kgとする。
- (11) 少年女子共通円盤投の円盤の重さは、1.000kgとする。
- (12) 少年女子共通やり投のやりの重さは、0.600kgとする。

## 2. 競技場の仕様について

競走路は全天候舗装である。

## 3. 練習会場および練習について

練習は指定された練習場で競技役員の指示に従うこと。

## 4. 招集について

- (1) 招集所は、陸上競技場第1ゲート外側に設ける。
- (2) 各競技の招集開始時刻・終了時刻は、その競技開始時刻を基準として下記の要領で行う。

競技	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 40分前	競技開始 20分前
走高跳・走幅跳・三段跳	競技開始 70分前	競技開始 30分前
棒高跳	競技開始 90分前	競技開始 50分前
投てき競技	競技開始 70分前	競技開始 30分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
- (4) 競技者は、招集完了時刻までに招集所で点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ・商標等の点検を受ける。
- (5) 2種目を同時に兼ねる競技者は、2種目同時出場届を競技者係（招集所）に提出すること。

## 5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、日本陸上競技連盟登録番号のものを使用し、ユニフォームの胸部・背部につける。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のいずれかにつけるだけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集受付時に写真判定用腰ゼッケンを受け取り、所定の位置に取り付け、競技終了後フニッシュライン付近で競技役員に必ず返却すること。

## 6. 競技の抽選および番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) 予選・決勝の組み合わせ及び全競技のレーン順・試技順は主催者が抽選しプログラムに記載する。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びそのレーン順は、記録掲示板に掲示する。
- (3) トラック競技において、タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がある場合は、写真判定員主任が0.001秒の実時間を判定して決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。

## 7. 競技について

- (1) その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- (2) スターターの合図は英語とする（「On your marks」, 「Set」）。
- (3) 競技規則第162条7項により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (4) スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本競技会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。
- (5) 短距離走では競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- (6) 跳躍・投てき競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）にマーカーを2個まで置くことができる。

(7) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。ただし、状況により変更することもあり得る。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	成年・少年共通男子	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	3cm
	成年女子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	-----	3cm
棒高跳	少年A男子	3m20	3m40	3m60	4m80	4m00	-----	10cm
	成年女子	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	10cm

(8) 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置をあらかじめ当該競技役員により申し出ること。その後の位置変更したい場合も、当該競技役員に申し出ること。

(9) 三段跳の踏切板は、砂場から男子 11 m、女子 9 m 地点に設置する。

## 8. 抗議・上訴について

発表された結果に対する抗議は、競技規則第 146 条に定められた時間内（同日に次のラウンドが行われる場合には 15 分以内、それ以外は 30 分以内）に、競技者本人または代理人から担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、大会本部（No.9 会議室）で待機する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1 万円）を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出ること。

## 9. 競技用具について

(1) 競技に使用する用器具は、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、棒高跳用のポールについては、個人所有のものを使用できるが、その検査は競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を行う。

(2) 投てき用具については、個人所有の持ち込みを認める。

ただし、希望者は競技開始 60 分前までに検査を受けること。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。検査場所は陸上競技場第 1 ゲート付近で行う。

## 10. 競技用靴について

本競技場は全天候舗装であるため、スパイクピンの数は 11 本以内で、長さは 9 mm 以内とする。

ただし、走高跳・やり投は 12 mm 以内とする。また、スパイクピンの先端の直径は 4 mm 以内とする。

## 11. 表彰について

各種目の 1 位から 3 位の競技者には、賞状を授与する。

## 12. 更衣室について

(1) 更衣室は本競技場の 1 階に用意されている。

(2) 更衣室は更衣のみ使用できる。更衣後の荷物は各自で管理する。

(3) 貴重品類は各自で管理する。万一の紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。

## 13. その他

(1) 本大会での各種目の優勝者が、国体選手として選考されるとは限らない。

(2) 応急処置を必要とする事故が生じた場合は、大会本部に連絡をして処置を受ける。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、以後主催者は責任を負わない。

(3) ゴミは各自・各チームにて処理すること。

(4) 競技結果等は記録処理終了後、随時記録掲示板および岡山陸上競技協会ホームページに掲載する。

(5) プログラム記載事項に訂正がある場合は、競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面にて行うこと。（手続き用紙は大会本部にて用意する。）

(6) 記録証明書を希望する競技者は、大会本部に一部 300 円を添えて申し出ること。